

第1回 京都府がん医療戦略推進会議の開催概要

1 日時

平成23年8月10日（水曜）午後3時から午後5時10分まで

2 場所

京都市上京区烏丸通上長者町上る龍前町
京都平安ホテル 2階 白河の間

3 出席団体

<がん診療連携拠点病院>

- 京都府立医科大学附属病院
- 京都大学医学部附属病院
- 京都第二赤十字病院
- 京都市立病院
- 京都第一赤十字病院
- 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
- 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院
- 市立福知山市民病院
- 独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター

<京都府がん診療連携病院>

- 社会医療法人岡本病院（財団） 第二岡本総合病院
- 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
- 公立山城病院
- 公立南丹病院
- 京都府立与謝の海病院

<関係団体>

- 社団法人京都府医師会
- 京都府病院協会
- 社団法人京都私立病院協会

<京都府>

<オブザーバー>

独立行政法人国立がん研究センター

4 議題

(1) 報告事項

- 京都府がん医療戦略推進会議の設置について
- 京都府地域医療再生計画（がん対策部分）について
- 全国会議（第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会等）の概要について

(2) 協議事項

- 京都府がん医療戦略推進会議及び各部会の今後の活動について

5 議事概要・主な意見

(1) 報告事項

ア.京都府がん医療戦略推進会議の設置について

- 京都府がん対策条例に基づき、京都府内のがん医療の水準向上の方針を議論するための、京都府がん医療戦略会議を設置する
- 部会活動は、がん診療連携協議会の部会を引き継ぎ、継続していく。

イ.京都府地域医療再生計画（がん対策部分）について

- 地域における医療課題の解決を図ることを目的に策定する「地域医療再生計画」について、がん対策部分を報告。

ウ.全国会議（第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会等）の概要について

- 国のがん対策推進基本計画の見直し内容の決定は、24年春の予定。がん診療連携拠点病院についても、計画変更後、指定要件の見直しが検討される方向。
- 「患者必携」（患者向け情報冊子）の各院での活用、相談支援の取組や地域資源情報等の情報共有を進めていただきたい。

(2) 協議事項

ア.京都府がん医療戦略推進会議及び各部会の今後の活動について

(ア) 各部会からの活動報告

院内がん登録部会

登録実務者のレベルアップを目ざし、研修・実務者相談会を定期開催

相談支援部会

相談実績、サロン設置状況、相談時の課題・提供資料等についてのアンケート、情報共有

研修部会

府内の研修実施状況の集計・分析を実施。平成23年度がん研修計画表を取りまとめてホームページへ掲載

緩和ケア部会

単位型緩和ケア研修会の運営。看護師向けの緩和ケア研修会を日本で初めて組織的に開催。緩和ケアの実態調査

外来化学療法部会

実態調査アンケートを実施・分析。ガイドラインに則った5大がんに係るレジメンの集約・情報提供を検討中

地域連携部会

5大がん地域連携手帳（術後経過観察用パス、京都府統一様式）の作成。平成23年9月1日から診療報酬の適用開始予定。京都府医師会の取組（近畿厚生局への届出における連携先医療機関のとりまとめ、連携医療機関への説明会）に協力

(イ) 主な意見

院内がん登録部会

登録精度向上のための研修について、担当者が参加しやすくなるよう、所属長に研修の重要性を理解してもらうことも必要であり、本戦略会議から研修の開催、職員派遣について広報してはどうかとの提案があった。

相談支援部会

がん患者サロンの設置に関するモデルケースを示して欲しいとの要望があった。

研修部会

府民に対する啓発や研修情報の紹介について、自治体の広報媒体を活用してはどうかと提案があった。

緩和ケア部会

府内の緩和ケアの均てん化・人材育成について以下の点で討議された。

- ・主治医、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟の各レベルで教育を行うことが今後必要であること。
- ・教育施設（大学病院）の緩和ケア病棟としては、各地域で緩和ケア病棟を担う人材に対する教育を担うのが望ましいこと。
- ・緩和ケア病棟は家族の負担が大きく、近隣の住民以外が活用するのは難しいので、各地域に整備されなければならないこと。
- ・緩和ケア病棟は在宅医療とセットで各地域に整備されるべきであること。

外来化学療法部会

外来化学療法の地域連携パスについて、病診連携に加え、病院と薬局との連携にも留意しながら検討する必要があるとの報告がなされた。

地域連携部会

他府県との連携の問題もあり、パスは本来全国レベルで整備されるべきとの意見が出された。